

あいさつからはじまる私の毎日

東栄小学校5年
中村 友香

私は、毎朝「あいさつ運動」という活動に自主的に参加しています。参加しはじめたきっかけは、四年生のときに、友達のお姉さんがあいさつ運動にさそってくれたことでした。参加しはじめたころは、「あいさつ運動」って大変だなと思っていました。でも、友達がいたから、楽しいと感じることが出来ました。

毎日の「あいさつ運動」を通して、私はあいさつのすばらしいところを三つみつけました。

一つ目、自分が元気になることです。あいさつをたくさんすると、自然と笑顔になることができ、元気がわいてきます。

二つ目、相手も元気にできることです。自分があいさつをすると相手があいさつを返してくれ、笑顔のコミュニケーションがとれます。それで相手も元気にすることができます。

三つ目、みんなを笑顔にできることです。みんながあいさつをすると、笑顔があふれ、楽しいふんいきをつくりだすことができます。そして、気持ちよくその日をすごせます。一人があいさつをして、相手が、また違う人があいさつをして、その人が、また別の人にあいさつをして……。と、どんどん広がっていきます。そうすると、みんなが笑顔になります。このように、あいさつにはすばらしいところがたくさんあります。最近、私の学校では「あいさつ運動」に参加する人がへっています。私は、去年、すごくあいさつに力を入れていた六年生のセンパイが卒業してしまったからだと思います。また、「あいさつ運動」をすると、ランドセルをかたづけたりする時間が短くなってしまうからだと考えます。私は、「あいさつ運動」に行くと楽しいです。

しかし、だんだんと人数がへっていきさみ

しいです。それでも、交通安全指導員さんやボランティアさんたちと毎朝「おはよう。」と、笑顔であいさつをかわし、支えてくれる人がいると、私もやる気が出て、心強いです。なので、私は「あいさつ運動」を通じて、もっとみんなであいさつをかわし合って、朝からいいスタートが切れるようにならいいなと思います。また、あいさつにはこのようないいところがたくさんあるということをもっとたくさん的人が知ってほしいです。それで、もっとたくさんあいさつのいいところを見つけ、共有し合いたいです。

